

市民と議会を結ぶ架け橋

# 上野原市 議会だより

No. 72

令和5年  
2月発行

## 12月定例会



**特集**

うえのはらで頑張る人  
猟友会のみなさん

特集 うえのはらで頑張る人	2
新年のあいさつ	4
定例会で決まった主なこと	5
議決結果等一覧表	7
会期中の審査	8
一般質問	9
閉会中の委員会活動	14
議会の活動	15
市民の声	16



## うえのはらで頑張る人 Vol.25 猟友会のみなさん



農業を営んでいる方や家庭菜園を楽しむにしている人たちの農作物を荒らす鳥獣被害が深刻になっています。地区からの駆除依頼を受けて活動する猟友会の皆さんにお話を伺いました。

自然、地域の財産、農作物を  
「私たちの銃で地域を守る」



どんな活動ですか

■ 有害鳥獣（鹿、イノシシ、サル、カワウ）などの駆除依頼を受けて銃器で捕獲駆除

- 年間115日の期間中、最高で1000日位駆除で出勤している隊員もいます。
- 50年近く活動しています。現在会員数は市内12支部73名で支部独自の活動をすることもありま。
- 日曜、祭日、年末年始に駆除依頼地区に出向き、有害鳥獣を駆除しています。



年間の活動はどれくらい



■ 駆除地域に車で到着しても、車両の駐車場所を見つけないのに苦労します。

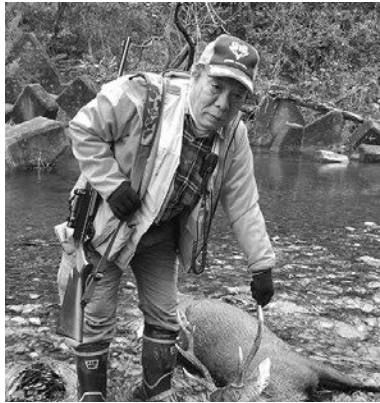
■ 地区からの駆除依頼を受けて出向くと、農家の方や被害者からは喜ばれますが、事情を知らない方から迷惑がられることが辛いです。

■ 銃を扱うので事故を起こさないこと、住民に迷惑の掛からない様に気遣いすることが大変です。

## 大変なことは



■ 鹿、イノシシの駆除が始まれば約4時間位は獲物が来るまで待っています。自分の所に来るか来ないかは、その日の運にまかせて、ドキドキしながら待っています。



■ 駆除の依頼情報を地域住民と共有して、住民トラブルにならない様にして欲しい。

■ 若い年代の隊員がほしい。若い人は、仕事や子育て

■ 事や子育てがあれば駆除活動への参加も難しいと思います。それでも、活動を継続するた

## 活動を通して思うこと

■ 趣味で始めた狩猟なので、楽しみながらやっています。獲物を取った後での懇親も楽しみの一つです。

■ 捕獲した時に地域の方から喜ばれることです。

■ 「ご苦労様、ありがとうございます」と、言われた時はうれしいです。



## 楽しみ喜びは

■ めに、若い隊員を増やしたいと思っています。

## 行政や議会に望むことは

■ 冬場の駆除は寒いので、せめてカイロやジャンパー等の支援をしてほしい。

■ 猟友会の活動を行政側からも市民に知ってもらえる様な取り組みをしてほしい。

■ 個人の猟銃を使って駆除活動をしていきます。高額なものなので、何かしらの支援はして欲しい。

## 取材を終えて

■ 日差しもあり、わりあい暖かい日に同行させてもらいました。天候の厳しい時のご苦労は想像もできません。駆除活動はチームワークが大切なこと、自分の持ち場で何時間も待つことなど知ることができました。こうした活動を市民の方に知らせることが大切だと感じました。





いあいさつ

議長 東山 洋昭

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、新春を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。また、平素より上野原市議会へのあたたかいご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が未だに収束しない中、私たちの生活様式はウィズコロナを前提としたもの変わってきています。市議会においても、昨年は停止していた他市からの行政視察を再開するなど、少しずつ活動の幅を広げております。

市議会としては、その都度、コロナ対策について、市民や市内事業者に対し最善の策が講じられるよう提言を行ってきましたが、今後も国・県・近隣市町村等の動向を注視しながら、市民にとって何が最善であるかを模索していきたいと思っております。

また市議会はここで改選が行われました。今後は新しい14名でよりよい市政のため尽力していくこととなります。

改選を期に勇退される議員の意思を引き継ぎつつ、新たな意見を取り入れながら、より一層活発な議論を行っていきたくと考えております。その中で市議会としての役割を果たすべく、積極的に市民の皆さんの声に耳を傾け、行政と一体となって、上野原市の市政発展に尽力していく所存です。

結びに、新しい年が皆さまにとって幸多き年になりますよう、心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。



遠藤美智子



白鳥 純雄



山口 薫



八木 一雄



内田 倫弘



長田喜巳夫



山口 好昭



杉本 公文



川島 秀夫



川田 好博



尾形 重寅



尾形 幸昭



杉本 友栄

# 12月 定例会

## 定例会で決まった 主なこと

令和4年第4回定例会が11月29日から12月14日まで16日間の日程で開かれました。

### 審議された議案

市長提出議案	20件
発議	3件

※ 議案名・議決結果等は7ページをご覧ください。  
※ 発議2件については、15ページをご覧ください。

議案第104号 上野原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

## 条例 改正

### 国保税算定方式を賦課3方式に 改正「資産割額」を廃止

賦課4方式「所得割額・資産割額・均等割額・平均割額」から「資産割額」を廃止、賦課3方式に改め、「所得割額の税率」及び「均等割額の金額」を見直して財源確保を行うため条例を改正します。

## 指定 管理

議案第116号  
議案第117号  
議案第118号

上野原市緑地等利用施設の指定管理者の指定について  
上野原市新湯治場秋山温泉施設の指定管理者の指定について  
上野原市立上野原スポーツプラザ市民プールの指定管理者の指定について

### 指定管理者の指定

指定期間が終わる3件の施設の指定管理者の指定を行いました。

■ 緑と太陽の丘キャンプ場  
指定管理者

山梨県上野原市秋山5602番地  
株式会社秋山ヴィレッジ

代表取締役 原田 翼

■ 秋山温泉  
指定管理者

静岡県静岡市葵区鷹匠二丁目23番9号  
上野原市健康づくりパートナーズ

静岡ビル保善株式会社

代表取締役 石井 宏司

■ 上野原スポーツプラザ市民プール  
指定管理者

神奈川県小田原市堀之内458番地  
株式会社スポーツプラザ報徳

代表取締役 安藤 博二

3件の指定期間はいずれも令和5年4月1日から  
令和10年3月31日まで

議案第106号 令和4年度上野原市一般会計補正予算(第5号)

正  
補  
算

総額3億3786万6千円  
増額補正

電気料・燃料費の増額の他、主な事業は次の通りです。

新田水防会館代替施設設計業務 235万8千円

情報通信基盤事業者等選定支援業務 423万5千円

低所得者子育て世帯生活支援特別給付金 1238万9千円

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 577万6千円

新型コロナウイルスワクチン接種事業 5719万5千円

40立方級防火水槽建設事業 942万6千円

消防団廠分団第4部建設設計委託料 508万5千円

消防事務連絡車購入費 471万3千円

除雪費用

農業用施設維持費 139万8千円

林道維持費 42万6千円

市道維持費 1400万0千円

物価高騰対応大学生高校生等支援事業 5356万3千円

議案第120号 令和4年度上野原市一般会計補正予算(第6号)

■ 出産・子育て応援交付金 1264万7千円

■ 出産応援ギフト(妊娠届時) 5万円

■ 子育て応援ギフト(出生届時) 5万円

■ 塵芥処理費 1782万0千円

可燃ごみ処理施設2号炉ガス冷却室修繕費の増額

議案第115号 上野原市過疎地域持続的発展計画の変更について

発  
展  
計  
画

過疎地域の指定、市全域に拡大

昨年度、特別措置法に規定する過疎地域に秋山地区が指定され、更に今年度からは市内全域が過疎地域に指定されたことに伴い、昨年度策定した過疎地域持続的発展計画を変更するものです。

議案第119号 人権擁護委員候補者の推薦について

人  
事  
案  
件

人権擁護委員候補者の推薦

令和5年6月30日をもって菊池康子氏の任期満了に伴い引き続き、同氏を候補者として推薦し適任としました。

人権擁護委員候補者 菊池康子 氏

請願第3号 旧島田中学校グラウンドの人工芝生化に関する請願書

請  
願

グラウンド人口芝生化趣旨採択

スポーツを愛好する市民が望む、旧島田中学校グラウンドの人工芝生化を求めるもので、趣旨採択されました。また、スポーツ・文化施設のあり方を市としても考えていく必要があるため、リスク面・費用面を十分に考慮し、多くの市民が利用できる施設にするなど、総合的に検討するよう付帯意見がだされました。

# 令和4年第4回定例会議決結果等一覧表

## ◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者)

議案番号	付託委員会	案 件 名	内田倫弘	八木一雄	山口 薫	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	東山洋昭	川島秀夫	杉本公文	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	尾形重貴	審議結果
103	総務産業	上野原市個人情報保護法施行条例制定について	○	○	○	○	○	◎	議長	○	○	○	○	○	○	○	可決
104		上野原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	◎		○	○	○	○	○	○	○	

## ◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案 件 名	審議結果
101	—	上野原市職員給与条例及び上野原市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決
102	総務産業	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	
105		上野原市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例制定について	
106	—	令和4年度上野原市一般会計補正予算(第5号)	
107		令和4年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	
108		令和4年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	
109		令和4年度上野原市介護保険特別会計補正予算(第2号)	
110		令和4年度上野原市介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	
111		令和4年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	
112		令和4年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	
113	—	令和4年度上野原市大目財産区特別会計補正予算(第2号)	
114		令和4年度上野原市島田財産区特別会計補正予算(第3号)	
115		上野原市過疎地域持続的発展計画の変更について	
116	総務産業	上野原市緑地等利用施設の指定管理者の指定について	
117		上野原市新湯治場秋山温泉施設の指定管理者の指定について	
118	文教厚生	上野原市立上野原スポーツプラザ市民プールの指定管理者の指定について	
119	—	人権擁護委員候補者の推薦について	適任
120	—	令和4年度上野原市一般会計補正予算(第6号)	可決
請願3	文教厚生	旧島田中学校グラウンドの人工芝生化に関する請願書	趣旨採択
発議6	—	上野原市議会基本条例制定について	可決
発議7		上野原市議会の個人情報の保護に関する条例制定について	
発議8		上野原市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	

※ 「—」は委員会付託が省略された議案です。

## 総務産業常任委員会

委員長 長田喜巳夫  
副委員長 尾形幸召  
委員 山口 薫  
白鳥純雄  
東山洋昭  
杉本公文  
尾形重寅

12月5日委員会を開催し、付託された条例制定4件、計画の変更1件、指定管理者の指定2件を審査しました。

議案第102号「地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について」は、定年を65歳等とするため関係条例を整備するものです。議案第103号「上野原市個人情報保護法施行条例制定について」は、全国的なルールに統一し運用するため、現行の条例を廃止し新たに施行条例を制定するものです。議案第104号「上野原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例指定について」は、賦課4方式から資産割額を廃止した賦課3方式に改正を行うものです。委員から市民への影響についての質問では、低所得者・中所得者の負担が減ること

でした。議案第105号「上野原市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例制定について」は、上野原市全域が過疎地域に指定されたことに伴い製造業、旅館業等の用に供する施設を事業者が取得した場合、資産税を免除するものです。他の計画変更1件、指定管理者の指定2案件を含む7案件について採択した結果、いずれも全会一致で可決すべきものと決定しました。



## 文教厚生常任委員会

委員長 内田倫弘  
副委員長 杉本友栄  
委員 八木一雄  
遠藤美智子  
川田好博  
川島秀夫  
山口好昭

12月5日に委員会を開催し、付託された指定管理者の指定1件を審査しました。

議案第118号 上野原市立上野原スポーツプラザ市民プールの指定管理者の指定については、指定管理者を株式会社スポーツプラザ報徳、期間は令和5年4月1日から令和10年3月31日までの5年間とするものです。仮協定での指定管理料は、5年間で1億5千940万円です。大幅な増額となる要因は、人員確保のため人件費増額や光熱費の高騰などです。指定管理料について、一事業年度ごとに収益がでた場合、次年度の指定管理料の減額について変更協議を行なうものとし、本協定に向け、経費削減、自主事業の充実、利用料の見直しも含め調整する予定との説明でした。

委員からは、現場の労働環境や待遇の改善を強く求めるべき、集客を見込めるイベント開催等、工夫するよう意見が出ました。

採決の結果全会一致で可決すべきものと決定しましたが、指定管理料について、指定管理料を上げる際など、根拠となる数字を明らかにするため、他の指定管理にも、指定管理者の年度計画等を所管の常任委員会へ提示する付帯意見をつけました。





## 各議員の主な質問項目

山口薫議員

- 1 NTT光のエリア拡大は市内全域へ
- 2 脱炭素社会構築へ向けた市の役割について 他

川田好博議員

- 1 新型コロナウイルス感染症対策
- 2 物価高騰 他

山口好昭議員

- 1 上野原市ビジョン策定プロジェクトの現状について
- 2 重要課題に不可欠。プロジェクト化による取り組みについて 他

長田喜巳夫議員

- 1 上野原市ビジョンについて
- 2 上野原市ビジョンと長期総合計画の関係について 他

八木一雄議員

- 1 歴史ミ二展示会の成果は
- 2 保育所送迎軽減に向けた「駅前ステーション」計画の検討状況は 他

川島秀夫議員

- 1 情報通信基盤整備事業について
- 2 上野原市ビジョン策定について 他

白鳥純雄議員

- 1 誇れるまちづくりについて

遠藤美智子議員

- 1 高齢者福祉について
- 2 「出産・子育て応援交付金事業」今後の取り組み

杉本公文議員

- 1 新型コロナウイルス感染症対策
- 2 情報通信基盤整備事業

持続可能な上野原のために  
将来を見据えた政策を！



山口 薫

質問

小中学生に対するSDGsと温室効果ガス削減の教育はどの様にされているか。

答弁

各教科横断的にSDGsや脱炭素の教育を行っていません。給食も地産地消、食品ロスに配慮すると共に、代替肉等も提供しています。自然エネルギーによる発電や蓄電池、電気自動車等は、環境面でも防災面でも有効です。購入者に対し一定の支援をすることは如何か。

質問

来年度の制度化に向けて、現在取り組んでいます。災害の被害拡大を抑え、人命を守るためには、初期消火や応急手当等身近で基本的な訓練が重要と思うが。

答弁

年に一度の総合的な訓練だけでなく、身近な訓練を定期的に行えるよう支援が必要と考えています。市の防災指導体制を補完する意味で、市内居住の消防経験者等が、ボランティア

質問

で協力したいというが。地元防災組織に協力し、防災リーダーと共に活躍して頂く事を期待しています。NTT光のエリア拡大は人口減少対策上必須であり、同時に情報格差も解消される。拡大は是非全市一斉に同時期に行って欲しい。

答弁

市内全域のエリア拡大に向けて、引き続きNTTと交渉を進めていきます。島田小前の県道は狭く、交通量も多く事故も多発危険です。住民は一日も早い拡幅を望んでいます。県に対し、住民等の思いを伝え、早期に拡幅するよう引き続き要請いたします。

質問

市防炎指導体制を補完する意味で、市内居住の消防経験者等が、ボランティア



## 学校給食費の全学年無償化を



川田好博

質問

学校給食費の無償化について、中学3年を今年度無料化したのが、全学年に拡大すべきと考えるが。

答弁

まずは、無償化の対象学年を中学校全学年に拡大できるように、政策・財政部門との協議を行っているところです。

意見

また、現在稼働している四方津学校共同給食共同調理場など築20年以上経過し、施設・設備の老朽化など様々な課題を抱えています。その解決のためには相当の費用が見込まれます。

質問

施設の老朽化については、公共施設整備基金を利用すべきである。子どもの人口を増やす課題は、最大のものであり、重要な課題の財源はきちんと保障することが大切。

短期大学、高専を含めて、高等教育機関への進学率は8割以上もある。教育費の



答弁

負担が特に重くなっている大学生への支援は、大切な課題である。高校生・大学生へのパソコン購入の補助を市として独自にすすめてはどうか。

意見

市単独でのパソコン購入補助事業とはなりません。物価高騰への対策として大学生高校生等を支援する事業を予定しています。市内の大学に進学しても住民票を移さない学生もたくさんいる。恒久的な支援をすれば、住民票を移しても、人口も増える。地方交付税の額も増えるので、本気で恒久的な大学生への支援を考えてほしい。

## 重要課題に不可欠、プロジェクト化による取り組みについて



山口好昭

質問

簡易水道組合につきましては、明治、大正、昭和からの時代背景から近代的な水道、現在の東部広域水道企業団移行等これまでも数回質問して参りました。

簡易水道組合、小規模水道組合、あるいは行政未登録組合等まだ様々な僅か1割足らずには違いありませんが、大変遅れている組合簡水があるわけです。その中でこれまでも一定の理解、前向きな答弁を頂きました。残念ながら法律で決められている水問題、私は残念ながら優先順位は必ずしも高くない。これでは困るということなんです。このたびも簡易水道組合の市営簡易水道への移行あるいは、濾過器設置等、以前要望していたことを含め生活環境課長答弁をお願いします。

答弁

初めに市営簡易水道への移行については、各組合の状

況を踏まえまず水道料金体系や人口減少や高齢化により体力的負担も大きく維持管理等の課題があると考えています。それらを明確にし解決に向け協議を重ね市営簡易水道と同等の運営状況となった組合から順次直営化を進められるよう検討して参ります。その為にはまず料金体系の統一や濾過施設の整備等のルールを定めていく必要となるため各簡易水道組合の意見を伺いながら検討します。又未整備組合についても各水道組合の実情をふまえて問題を明確にし解決に向け検討して参ります。



上野原市ビジョンと総合計画との関係について



長田喜巳夫

**質問** 上野原市ビジョンを策定する目的は何か。

**答弁** 市の目指すまちの姿、どんなまちになつていきたいかをメッセージとして現すものであり、今後改定を予定している「上野原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の各分野別計画のビジョンの上の「全体ビジョン」になると考えています。

**質問** 長期ビジョンとは何か。

**答弁** 改正前の自治法第2条第4項の「総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想及び長期総合計画」のことです。

**質問** 総合的な計画を明らかにし、その上で各分野の施策を着実に実施していくことが基本と考えるが。

**答弁** 第2期総合戦略では、個別事業を概ね別冊で定め各担当課において事業を実施しています。

**意見** 総合戦略は概ね総合計画と

**質問**

生活排水処理改善の方向は。

**意見**

合併浄化槽への転換補助金の加算を行い、今まで以上に強く推進していきます。持続可能な地域社会を構築していくため、個人負担金なしで整備できるように実施計画を作るべきである。他に、人口減少とまちづくりについて質問しました。

**質問**

文化財常設展示施設の開設に至るまで、歴史や文化への啓蒙や機運を高める為に

本年3月より、毎月開催の「ミニ展示会」企画に対する評価・成果は。

**答弁**

3月から11月までの見学者総数は延べ1859人で、市内外から多くの見学者が利用。中でも「戦争と上野原展」では延べ330人と反響も大きく、次回開催を望む声を多く頂いた。課題は展示保存する上での温湿度管理や防犯上の観点から歴史的重要な資料の展示ができていない事。小・中学校の児童生徒からの土・日など休日解放を求める声や教育的展示施設を求める声も多く寄せられた。今後も企画展の開催を通して市民ニーズを拾い上げ「文化財常設展示施設整備の基本構想」に反映していきます。

**質問**

保護者による保育所送迎の

歴史「ミニ展示会」について  
保育所送迎の負担軽減に向けて



八木一雄

負担軽減に向けた「駅前ステーション」計画の検討状況は。

**答弁**

第3回子ども・子育て会議において、会議の目的として、より良い子育て環境づくりに向けて、今後、必要とされるであろう新たなサービスの検討や提案を行う中の一つとして「駅前ステーション」についても調査検討を行い、実際に本事業を行っている先進自治体に赴き、視察状況や他のアンケート調査の結果も踏まえ保護者が一番必要とする子育て施策について慎重に検討を行い、取り組んでいきたいと考えています。



情報基盤整備事業について  
市長公約について



川島秀夫

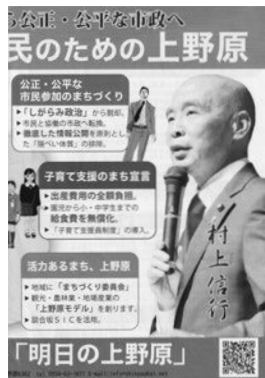
**質問** NTT拡大交渉、その後について。

**答弁** その後の状況は、NTTで行えることされる市内一部エリアについてサービス提供に向けて順次進められています。初期投資額の一部負担が有ればエリア拡大が可能とされるその他エリアにつき、現在初期投資額の確認などを行っています。

**質問** 音声告知サービス廃止について。

**答弁** サービス開始から15年以上経過老朽化が懸念されているが、通信事業機器の生産が終了している為、故障した場合修理対応も出来ない状況になっています。このままでは、音声告知サービスやUBCのインターネットサービスが停止してしまふ恐れがあり検討をした結果、音声告知端末サービス廃止と判断しました。

**質問** 市長の公約「隠ぺい体質の



**答弁** 自立を図るために必要な知識や技術などを指導するための「特別支援教室」と「通級指導教室」があり、上野原小学校以外・上野原中学校以外からも通うことがで



誇れるまち  
住み続けたいまちづくり



白鳥純雄

**質問** 桂川河川公園(桂川橋左岸)をスポーツやイベント等が出来るような再整備計画はないのか伺います。

**答弁** 台風などによる水害の発生や、周辺施設の市民ニーズ、他施設との整合等財源も含めて検証していきます。

**意見** 平成30年3月に桂川河川公園再整備計画検討業務も

行っています。再整備を行うサイクリングや、スケートボード、ボール遊び等が気軽にでき、緊急離着陸ヘリポート場やイベント等で利用価値を上げられるよう取り組んで欲しい。

**質問** 学校教育の中で、支援が必要な子供たちに対する取り組みを伺います。

**答弁** 自立を図るために必要な知識や技術などを指導するための「特別支援教室」と「通級指導教室」があり、上野原小学校以外・上野原中学校以外からも通うことがで

き、当市のセンター的役割を担っています。

**質問** 小中学校でのいじめによる自殺や、不登校の状況を伺います。

**答弁** いじめを主訴とする不登校はありませんが、諸機関と連携し各種相談や家庭訪問、適応指導教室「ステップ」による様々な支援に務めています。「中一ギャップ」についても小学校側と情報交換を行い小学校への出前授業も行っています。

**意見** 他に、人口減少問題、水道インフラ整備について質問しました。

**意見** この公約・姿勢を忘れず市政に臨んでほしい。

他に、市ビジョン策定について質問した。

## 高齢者福祉について 出産・子育て応援交付金の活用



遠藤美智子

**質問** 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な事業」の取り組み状況は。

令和5年度から事業実施に向けて、実際にどのようなことを中心に進めるのか、現在、計画書の作成を進めています。

**質問** 令和5年度から事業実施に向けて、実際にどのようなことを中心に進めるのか、現在、計画書の作成を進めています。

**質問**

は、将来にわたる持続可能な方法を公共交通と個別事業を合わせ総合的に検討していきます。

**質問** 国の総合経済対策で「出産・子育て応援交付金」が予算化された。伴走型相談支援や一時あずかり・家事支援等にも活用できる交付金です。当市としての交付金の活用方法は。

**質問** 高齢者や障がい者のごみ出し支援について、当市の考えを問う。

今後、ニーズを把握し支援事業の検討が必要と考えています。

**質問** 今後、ニーズを把握し支援事業の検討が必要と考えています。

**質問**

相談支援・経済的支援を総合的に活用する中で、安心して出産・子育てができるよう子育て家庭に寄り添うことが重要と考えています。

**意見** 高齢福祉部局・廃棄物部局等関係各課と連携し、早急にごみ出し支援事業の導入が必要と考えます。

高齢福祉部局・廃棄物部局等関係各課と連携し、早急にごみ出し支援事業の導入が必要と考えます。

**質問** 免許証を返納しなくても返納できない高齢者・乗車数が少ない循環バス・市街地の住民が利用できないデマンドタクシー等々、現在の交通弱者の移動支援については改善、拡充が必要では。

免許証を返納しなくても返納できない高齢者・乗車数が少ない循環バス・市街地の住民が利用できないデマンドタクシー等々、現在の交通弱者の移動支援については改善、拡充が必要では。

**質問** 免許証を返納しなくても返納できない高齢者・乗車数が少ない循環バス・市街地の住民が利用できないデマンドタクシー等々、現在の交通弱者の移動支援については改善、拡充が必要では。

免許証を返納しなくても返納できない高齢者・乗車数が少ない循環バス・市街地の住民が利用できないデマンドタクシー等々、現在の交通弱者の移動支援については改善、拡充が必要では。

**質問** 免許証を返納しなくても返納できない高齢者・乗車数が少ない循環バス・市街地の住民が利用できないデマンドタクシー等々、現在の交通弱者の移動支援については改善、拡充が必要では。

免許証を返納しなくても返納できない高齢者・乗車数が少ない循環バス・市街地の住民が利用できないデマンドタクシー等々、現在の交通弱者の移動支援については改善、拡充が必要では。



## 新型コロナウイルス感染症対策 検査体制と感染者等への対応は



杉本公文

**質問** 第8波に突入し、市内でも感染者が急増している。検査体制は万全か。

発熱等の症状がある方は、市立病院の発熱外来で抗原定量検査等を、市内の5つの医療機関で抗原定性検査を行っています。重症化リスクが低い中学生以上64歳以下で基礎疾患がない方は、薬局等での検査キットの配布の申し込みを行い、セルフ検査を実施していたり、症状の無い方の検査は、県による市内3薬局での無料の抗原定性検査を案内し、感染を不安に感じる市民の自発的に受けたPCR検査には、市の独自助成事業も実施しています。

**質問** 第8波に突入し、市内でも感染者が急増している。検査体制は万全か。

発熱等の症状がある方は、市立病院の発熱外来で抗原定量検査等を、市内の5つの医療機関で抗原定性検査を行っています。重症化リスクが低い中学生以上64歳以下で基礎疾患がない方は、薬局等での検査キットの配布の申し込みを行い、セルフ検査を実施していたり、症状の無い方の検査は、県による市内3薬局での無料の抗原定性検査を案内し、感染を不安に感じる市民の自発的に受けたPCR検査には、市の独自助成事業も実施しています。

**質問** 第8波に突入し、市内でも感染者が急増している。検査体制は万全か。

発熱等の症状がある方は、市立病院の発熱外来で抗原定量検査等を、市内の5つの医療機関で抗原定性検査を行っています。重症化リスクが低い中学生以上64歳以下で基礎疾患がない方は、薬局等での検査キットの配布の申し込みを行い、セルフ検査を実施していたり、症状の無い方の検査は、県による市内3薬局での無料の抗原定性検査を案内し、感染を不安に感じる市民の自発的に受けたPCR検査には、市の独自助成事業も実施しています。

**意見**

重症は1%未満です。感染後の対応は、山梨県が一括で入院調整をしており、中等症以上の方は医療機関に入院、症状の軽い方は宿泊療養または自宅療養となります。

年末年始に向け、感染拡大が危惧されます。市民の皆様にも、自主検査の方法や手続き、感染後の対応などを記載したチラシ等を全世帯に配布すべきでは。

他に、情報通信基盤整備事業について質問しました。

他に、情報通信基盤整備事業について質問しました。

他に、情報通信基盤整備事業について質問しました。

**質問** 新規感染者の症状別の内訳の割合と対応は。

11月の数字では約86%の方が軽症、約10%の方が中等症、約4%の方が無症状、

**質問** 新規感染者の症状別の内訳の割合と対応は。

11月の数字では約86%の方が軽症、約10%の方が中等症、約4%の方が無症状、



## 総務産業常任委員会

委員長 長田喜巳夫  
副委員長 尾形幸昭  
委員 山口 薫  
白鳥純雄  
東山洋昭  
杉本公文  
尾形重寅

11月10日閉会中の調査として、「移住・定住対策について」と「ジビエの加工場」について視察を行いました。

最初に奥多摩町へ伺い、移住・定住について説明を受けました。奥多摩町の人口は、社会動態では平成25年度以降プラスが続いているが、自然動態の減少と合わせた全体ではマイナスとのことでした。町としては、少子化対策の推進、高齢者対策の推進、定住化対策の推進に重点的に取り組み、特に町営若者住宅、子育て応援住宅の整備、空き家バンクの推進に力を入れ、町営若者住宅といなか暮らし支援住宅は15年間居住した場合無償で土地・建物を譲与する制度で、現在18世帯がお住まいとのこと。空き家バンクは、登録物件87に対し、利用登録者551と不足しているとのこと。令和4年1月1日現在で定住対策事業によ



る定住人口は577人で全体の11・8%となり大きな成果を実感しているとのことでした。

次に丹波山村に伺いジビエの加工場について視察を行いました。担当課において、移住・定住については、他の事例を参考にきめ細かな対策を模索すること、ジビエ加工場については、今後は情報収集に努めることを要望しました。

## 文教厚生常任委員会

委員長 内田倫弘  
副委員長 杉本友栄  
委員 八木一雄  
遠藤美智子  
川田好博  
川島秀夫  
山口好昭

11月9日、閉会中の継続調査として、「自然の里の進行状況について」「旧島田中学校グラウンドの人工芝生化に関する請願書について」調査を行いました。

自然の里の進行状況は、令和5年4月から市へ移管され、指定管理者により運営されます。指定管理者からは、既存の建物を活かし、様々な自然体験ができる施設にするとのこと。進入道路は、市道2路線の道路拡幅を計画し、令和5年6月末完成目標の路線、来年度秋以降を予定している路線があり、今後は地権者説明会を開催し用地買収を進めるとのことです。

旧島田中学校グラウンドの人工芝生化は、請願にあったサッカーグラウンドは面積的に難しいこと、業者の見積では、約1億9千万円（税抜）で、ToTo補助金の対象補助額は新設時の

4千8百万円程とのこと。ラニンングコストは年間9百万円程となり、使用料に反映すると1時間1万円位と高額になること、家屋倒壊等氾濫想定地域に指定されていること、地域行事との整合性等を勘案すると、グラウンドの人工芝生化は難しいと見解が示されました。請願第3号は、趣旨採択すべきものと決定しました。

また、今回の調査で旧島田中学校グラウンドの人工芝生化は実現性には乏しい。しかし、請願者の想いは十分に理解でき、スポーツ・文化施設のあり方を市も考えていく必要があります。今後は、リスク面・費用面を考慮し、多目的に市民が使用できる施設にするなど、他の廃校等施設も含めて総合的に検討するよう付帯意見を付けました。

## 岡部幸喜副議長がご逝去されました



令和4年10月22日に岡部幸喜議員がお亡くなりになりました。

岡部議員は、平成7年7月に町議会議員に初当選以来、市議会議員と合わせて7期27年余り務められ、その間、議長、副議長、議会運営委員長等の要職を歴任されました。

また、長年にわたり、議員会の会長・副会長の立場から議員を統率され、円滑な議会運営に貢献されました。

ここに、生前の数々の功績をたたえ、謹んでご冥福をお祈りいたします。

## 第1回臨時会、副議長選挙

11月8日、上野原市議会第1回臨時会が開かれました。逝去された岡部幸喜副議長に代わる副議長選挙が行われました。指名推薦で遠藤美智子議員が選ばれました。また、東部広域水道企業団議会議員には、八木一雄議員が選ばれました。

発議第8号 上野原市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について

## 条例改正

### 常任委員会の定数を減らしました

議員定数の削減に伴い、各常任委員会の定数をそれぞれ1名削減します。

- 総務産業常任委員会 7名
- 文教厚生常任委員会 7名

## 条例制定

### 議会基本条例を制定しました

発議第6号 上野原市議会基本条例制定について

市議会は、市長とともに選挙で選ばれ、市政に責任を持つ組織です。平成12年に地方分権一括法の成立により、自治体の責任は、より大きなものになりました。市議会の責任を明確にし、十分役割を果たすために、目的、理念、活動の原則を定める議会基本条例を制定しました。

#### 目的

議員の資質及び議会の機能を高めることにより、市民の負託に的確に応え、市民福祉の向上と持続可能な豊かなまちづくりの実現に寄与する。

#### 議会活動の原則

- (1) 市長等について、適切な行政運営が行われているかを監視及び評価すること
- (2) 議案提出権を積極的に活用すること
- (3) 意思決定に当たっては、議員間の自由な討論を重ねて論点を明らかにし、合意形成に努めること
- (4) 市民の多様な意見を的確に把握し、協働の視点で政策形成に反映させ、政策の推進を図ること
- (5) 社会情勢の変化や新たな市政の課題等に適切に対応するため、継続的な議会改革に取り組むこと

市 民

の 声

# コロナ禍だからこそ明るく楽しく

私はコモアでハーモニカ教室を開いて10年になります。ハーモニカは小さいながら3オクターブの音域を持ち、メロディーを奏でながら伴奏も入れることができる特徴があります。小さな金属リードが発する哀愁漂う音色は日本人の胸に染みる様です。コロナ禍の前は甲府や富士吉田まで足を延ばして演奏技術の指導を行ってきましたが、コロナで教室は閉鎖に、クラブも解散になりました。



上野原ハーモニカクラブ代表  
細川 勝さん

連れ合いと昨年7月より障がい者施設を訪問し、ボランティア活動を始めました。演奏に合わせて笑顔で元気に歌ってくれる人達に我々が元気をもらっています。

コロナ禍で気が滅入るような今こそ、小さな楽器を通して明るく楽しく過ごしたいものです。

## 3 月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
2/26	27	28	3/1	2	3	4
				本会議 傍聴可	議案調査	
5	6	7	8	9	10	11
	委員会 総務産業 文教厚生	議案調査	委員会 予算特別	議案調査	委員会 予算特別	
12	13	14	15	16	17	18
	委員会 予算特別	議案調査	本会議 一般質問 傍聴可	本会議 一般質問 傍聴可	議案調査	
19	20	21	22	23	24	25
	本会議 一般質問 予備日 傍聴可	春分の日	本会議 傍聴可			

### 議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。

委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

### 託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局（62-3344）へお申し込みください。

### 編集後記

年明け早々山梨県知事選挙と市議会議員選挙で、あわただしく1年が始まりましたが、市民の皆様におかれましては、幸多い年になります事を願います。変異するコロナウイルスとの戦いに、新たな生活様式を取り入れ、私たち一人一人の力でこの難局を乗り越えなければならないと思います。ロシアのウクライナ侵略も1年が過ぎ、あたり前の生活が出来る事の幸せを改めて感じます。現在の議会だよりメンバーも本紙が最終号となりました。市民の皆様手に取ってもらえる、読みやすい紙面を作る努力を重ねて来ましたが、次号から新メンバーでの発行になります。ご期待ください。（白鳥）



YouTubeのQRコードです



議会だよりのQRコードです

- 議会だより編集常任委員会
- 委員長 川田 好博
  - 副委員長 山口 薫
  - 委員 内田 倫弘
  - 委員 八木 一雄
  - 委員 白鳥 純雄
  - 委員 遠藤美智子

